

着任のご挨拶

冬の雪が心配です。(はじめての北陸…)



事務部長 田 中 智



この度、七尾病院事務部長として着任いたしました。出身は温暖な三重県の松阪市です。今の季節は月に2回程度4時間半かけて実家に帰っていますが、冬場はどうしましょう。

七尾市には10年ほど前になるでしょうか、町内会の旅行で和倉温泉におじゃまして以来となります。2階の事務所の窓から七尾湾を挟み目と鼻の先にその和倉温泉が見え懐かしく思います。

さて、七尾病院ですが、今年11月から外来診療棟の建て替えを中心とした工事が始まります。建築後40年近く経過して老朽化も進んでおり、通院されている方々、お見舞いにお越しいただいているご家族の方にもご不便をお掛けしております。2年後には病院へ続く曲がりくねった坂道を上ると、真新しい外来診療棟と広々とした花いっぱい玄関前ロータリーが完成予定です。

また、今回の工事で既存の外来管理治療棟に併せ旧1・2病棟も解体します。平成21年に病棟は先行して新築されているため、来年の解体工事で古い建物が一新されることとなります。OBの方を始め以前から七尾病院にかかわっていただいた方々におかれましては、寂しい思いもお持ちだと推察いたします。工事完了後の新七尾病院はもちろんのこと、解体前にも是非一度、足を運んでいただきたいと思います。

工事完了は、平成31年5月予定です。みなさまのご協力よろしくお願いいたします。

外来中庭の池で大きく育った「カメさん」の引っ越しも忘れません！

「今日もいい看護ができた！」

そんな実感を大事にしたいです。



看護部長 酒 井 陽 子



3年ぶりに七尾病院に赴任することができました。北陸新幹線の開業、のと里山海道の無料化の恩恵もあってか、七尾市が以前にまして活気づいています。また、七尾市女性会による長年にわたるボランティア活動、病院からの出前講座の定着、さらに能登地区神経筋難病ネットワーク地域連携の会の講演会が当院で開催されたことで、七尾病院と地域住民のみなさまとの距離がより近くなったように感じさせてもらっているのは、私のおめでたい性格のおかげでしょうか。「地域のためにできることを自ら行動する!」ことをモットーに、微力ながら頑張っていきたいと思えます。

さて、七尾病院の看護部スタッフに関する私のお気に入りのひとつに、20代～50代までの各年齢層のバランスがとても良いということがあります。今年度の春も15名の看護職員が新しく入職してくれて、新しくさわやかな風を吹きこんでくれています。一方で、七尾病院でキャリアを積みあげ、患者さまやご家族との関係性を築きながら、その人それぞれの疾病経過や特徴・背景を理解して看護を実践し、後輩を育成してくれている臨床ナースの存在があります。日々、いろんな問題や課題はありますが、そこから学び、新人もベテランもお互いに成長を支援しあえる組織づくり、そして、一人一人が「今日もいい看護ができた!」という実感をもって仕事を終わられる…そんな尊い日常を積み上げていく大切さを伝えていきたいです。

ちょっと慌てん坊の看護部長ですが、みなさま、よろしくお願いいたします!どうぞ気軽にお声をかけてくださいませ。